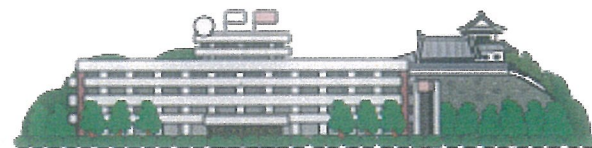


集落活動センターの県内への普及・拡大に向けて

集落活動センター支援の総合パッケージについて



高知県 中山間地域対策課

集落活動センターの県内への普及・拡大に向けて

➤ **集落活動センターの意義**

○別紙1 集落活動センターの必要性について

➤ **集落活動センター支援の総合パッケージ**

○別紙2 集落活動センター支援の総合パッケージのイメージ

➤ **集落活動センターの仕組み**

○別紙3 集落活動センターの仕組み概要(行政等への説明資料)

○別紙4 集落活動センターの仕組み概要(地域等への説明資料)

➤ **集落活動センターの仕組みへの支援**

○別紙5 集落活動センターに対する総合支援のイメージ

○別紙6 集落活動センターの自立に向けた成功イメージ

➤ **高知ふるさと応援隊への支援**

○別紙7 高知ふるさと応援隊に対する総合支援のイメージ

集落活動センターの必要性について

目的

- 中山間地域等の集落が将来、維持・再生していける仕組みづくり
- 将来の担い手となる人材の確保・育成

地域に対する説明

○人口減少等への懸念

- ・今後、更なる人口減少や高齢化の進展が予想される中、地域の住民同士で支え合い生活していくことが一層困難になってくる。
- ・集落実態調査からも、10年後では、75%の集落で衰退・消滅が危惧され、少しでも早く、1カ所でも多く対応することが必要。
- ・今後、時間が経てば経つほど状況は困難性を増す。

○行政サービスの限界

- ・公の機関である「行政」では、公平性の観点から横並びの画一的なサービスを超えることが難しい。地域の活性化には、地域の積極的な活動が欠かせず、住民力を高めることが必要。住民力が加わることで、より高いレベルの生活環境が維持できる。

○取り組みへの期待

- ・地域の様々な世代が集い、交流する機会が広がり、地域の絆が再構築される。
- ・新しい地域の活動や雇用、人々の生きがい広がる。
- ・地域の魅力や価値が高まることで、多様な人材を引きつける可能性が広がる。

○地域ニーズへの対応

- ・地域によって抱えている課題や住民のニーズが異なることから、集落活動センターは、住民が主体となり、自分たちがやりたい(やるべき)活動をオーダーメイドで展開できる取り組み。

○県の全面支援

- ・集落活動センターの取り組みは、産業、生活、福祉などの様々な分野において、総合的、一体的に支援が受けられる。

市町村に対する説明

○財政負担増への懸念

- ・集落活動センターの取り組みを通じて、今、住民主導の仕組みを確立しなければ、10年後には、さらに、行政負担が増加し、行政サービスの維持が困難になることが予想される。
- ・過疎化、高齢化が進み状況が厳しくなる中で、早期にこうした仕組みづくりに着手することが必要。

○「新たな公共」の必要性

- ・複雑で、多岐にわたる中山間地域の課題を解決するためには、行政の力だけでは限界。「住民力」の醸成や「官民協働」の仕組みの構築など、「新たな公共」の取り組みが不可欠。

○多様な資源や価値の有効活用

- ・中山間地域には、海、山、川など多くの自然が残っており、また、遊休農地や山林など、十分に活用されず資源も多く存在する。
- ・このような地域の潜在力を引き出す手立てや仕組みを生み出していくことが必要。

○県が総合支援を展開

- ・集落活動センターの取り組みを進めていくために、産業、福祉、生活など、県の施策や人を総動員し、総合的に支援を展開。
- ・県では、集落活動センターを核として中山間対策を推し進める。(中山間対策の予算を集落活動センターの取り組みに集中投資)

○国の政策として推進

- ・来年度から、国(総務省、国土交通省等)も、集落維持に向けた住民主導による一体的な取り組みの推進に取り組む予定で、国、県、市町村で一体となって取り組むことができる。

県民の皆様に対する説明

○集落調査の結果の反映

- ・集落調査では、集落の衰退の実態が明確となる一方、集落に愛着を持ち、引き続き生活したいと思っている住民が存在しており、こうした方が、引き続き中山間地域の集落で暮らすことができる仕組みを構築していくことが喫緊の課題。
- ・集落活動センターは、地域の課題解決や地域の方が描く将来像を実現していくための取り組み。

○中山間地域の強みを生かす

- ・中山間地域において、十分に活用されていない資源をフルに活用して、地域の潜在力や可能性を引き出すことが必要。
- ・全国的な田舎回帰の流れが加速する中、都市部の人々も、中山間地域に目を向けてくれており、そうしたチャンスを活かし、県土の93%を占める中山間地域の活性化に向けて取り組むことで、県全体の発展に繋げることが必要。

○中山間対策の意義

- ・中山間地域は、県土の約93%を占めており、厳しい条件の中にあっても、森を守り、水を守り、田畑を守り、日本の文化を守り、国民の心のよりどころとなる美しい国土と環境を未来の世代に引き継ぐと頑張っており、こうした人々たちが引き続き生活できるように支援していくことが重要。

○集落活動センターの取り組みの合理性(優位性)

- ・中山間地域の課題が複雑化、多様化する中、従来の縦割り型のバラバラの施策は、効果的ではなく、複合的な組織、人材、拠点づくりの視点が必要。
- ・小規模な集落を集落ごとに維持・活性化することは難しい。
 - 小学校区程度で核となる拠点を中心に複数集落が連携することで、地域全体の維持・活性化を図る。
- ・地域によって課題や活用できる資源が異なる。
 - 地域の総意によるオーダーメイドの取り組みを行政が総合的に支援。

普及の手法

- ◇ 区長会や地域座談会など機会を通じて、市町村が地域に対する周知を徹底
- ◇ 地域支援企画員等を通じて地域への集落活動センターの主旨の徹底
- ◇ アドバイザー等の派遣による勉強会等の開催
- ◇ ブロック別の研修会、勉強会等の開催
- ◇ 自立をイメージした想定モデルの創出、成功事例の紹介、ガイドブックの一層の充実
- ◇ 先進地域との交流促進

- ◇ 市町村説明会や研修会、ブロック別の市町村研修会の実施
- ◇ 担当者等の意識づけに向けて、粘り強い投げかけや説得
- ◇ 地域支援企画員を通じて、市町村に対する集落活動センターの主旨の徹底
- ◇ 自立をイメージした想定モデルの創出、成功事例の紹介、ガイドブックの一層の充実
- ◇ 市町村長とも十分に意思疎通を図る
- ◇ 国に対する集落支援交付金制度や交付税算入制度の提案
- ◇ 高知ふるさと応援隊の定住に向けた総合的な支援の仕組みづくり

- ◇ 中山間対策に対する理解と認識を高めるための場づくり
- ◇ 高知県の中山間地域の良さや強み等を様々な機会を通じて、全国に情報発信
- ◇ センターの取り組みについて、精力的に県民向けに情報発信
- ◇ 県広報やマスコミ等を最大限に活用した普及、啓発
- ◇ 高知ふるさと応援隊の積極的な導入

集落活動センター支援の総合パッケージのイメージ

別紙2

集落活動センターの取り組みのより一層の普及、拡大に向け、地域住民の皆様や市町村の「理解」と「やる気」を促進するため、集落活動センターにかかる支援策や取り組み事例などの情報について、総合的に提供する。

総合パッケージとは

- ◆ 集落活動センターの取り組みとは
- ◆ 集落活動センターの取り組みに対する総合的な支援施策
- ◆ 「高知ふるさと応援隊」に対する総合的な支援施策
- ◆ 集落活動センターの自立に向けた成功イメージ
- ◆ 集落活動センターの取り組み事例

総合パッケージで地域に提供

既存の「集落活動センター支援ハンドブック」の改訂(3月)に合わせて、内容の見直し

ハンドブックの構成

(1) 集落活動センターの取り組みの概要

- 集落活動センターとは、(行政用、地域用)
- 集落活動センターへの支援スキーム(支援チーム、助成制度等)
- 高知ふるさと応援隊の制度とは、

(2) 集落活動センターへの支援策

- 集落活動センターの取り組みに対する総合支援メニュー一覧
 - ・ 「運営全般」、「経済的な活動」、「支え合い活動」を3つの柱に、28の支援項目ごとに施策を整理。
 - ・ 「資金面からの支援」と「人的な支援」で区分
- 高知ふるさと応援隊に対する総合支援メニュー一覧
 - ※ 地域づくり支援課等の関連課との要調整
- 主な集落活動センター等の支援事業の個表(A4)

(3) 集落活動センターの自立に向けた成功イメージ

- 取り組みに向けての基本的な考え方
- 具体的な事例(取り組みパターン)

(4) 集落活動センターの取り組み事例

- 集落活動センターごとの概要と取り組み内容

(5) キーワード検索

住民の皆様へ配布

地域への浸透

まずは、「理解」と「関心」を持つ

・ 市町村や団体等が実施する住民を対象にした会合(地区長会等)を通じて広く普及

集落が「やる気」、「意欲」を持つ

・ 地域や集落ごとの会合(寄合、地区会、地区座談会)を通じて、集落ごとに個別に普及

集落で「活用」し、「活動に着手」

・ 地域が主体となって支援策の活用や事例などを参考にして活動を展開

地域

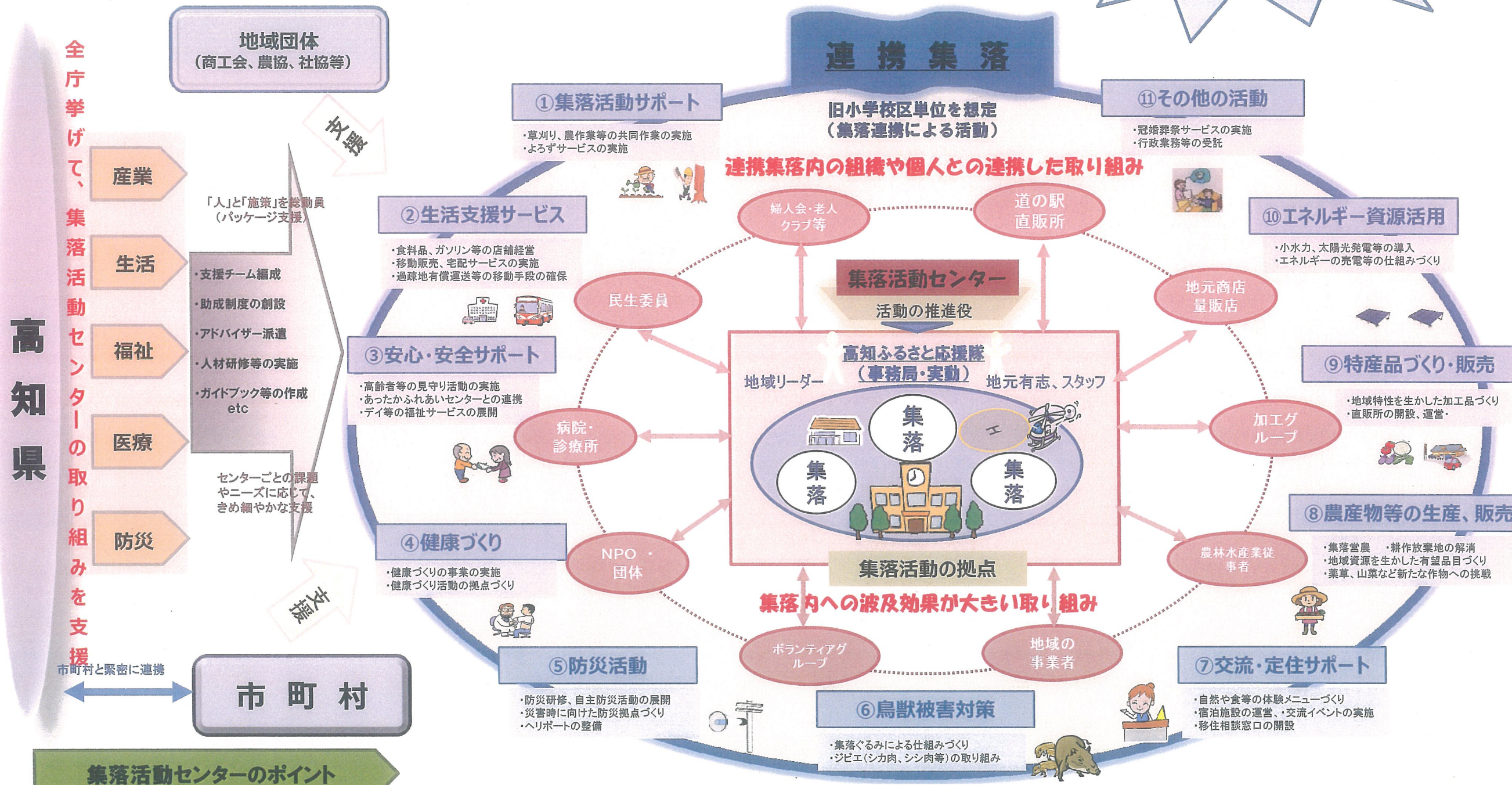
集落活動センターの取り組みの概要(行政等への説明資料)

別紙3

集落活動センターとは

地域住民が主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、生活、福祉、産業、防災などの活動について、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組み

皆さまのその一歩が
集落の未来をかえる！！



集落活動センターのポイント

① 主役は、地域住民の皆さま

主役である住民の皆様と市町村の一体となった取り組みを支援

② 活動は地域のオーダーメイド

住民の皆さまの話し合いから生まれたアイデアや提案を取り組みに繋げる仕組み

③ 皆さまの集まりやすい場所が活動の中心

集会所や廃校となった施設など、住民の皆さまが自然と集い、語り合える場所が拠点

④ 様々な人材を活用

住民の皆様と一緒に取り組むUターン、移住者など地域外の人材の導入

⑤ 集落の連携による取り組み

近隣の集落が互いに連携し、助け合うことにより、今までできなかったことが可能になる取り組み

集落活動センターの取り組み概要（地域等への説明資料）

皆さまのその一歩が集落の未来をかえる

1 集落活動センターの立ち上げまで

① 一歩踏み出し

まずは地域で話し合い

集落の現状
や課題は？

日々の暮らしで困って
いることや不安に思う
ことは？

自分たちの
集落の魅力
は？

集落の課題をともに考え、やりたいことやできることを具体的にイメージしてみましょう。

② “思い”を

市町村とイメージを共有し
地域の“思い”をひとつにする

活動拠点は
どこする？
運営主体は？

具体的な活動内容
や活動計画は？

「いつ頃」「誰が」「何を」「どのように」
取り組むのかについて、具体的な活
動内容や計画にまとめましょう。

③ “形”に

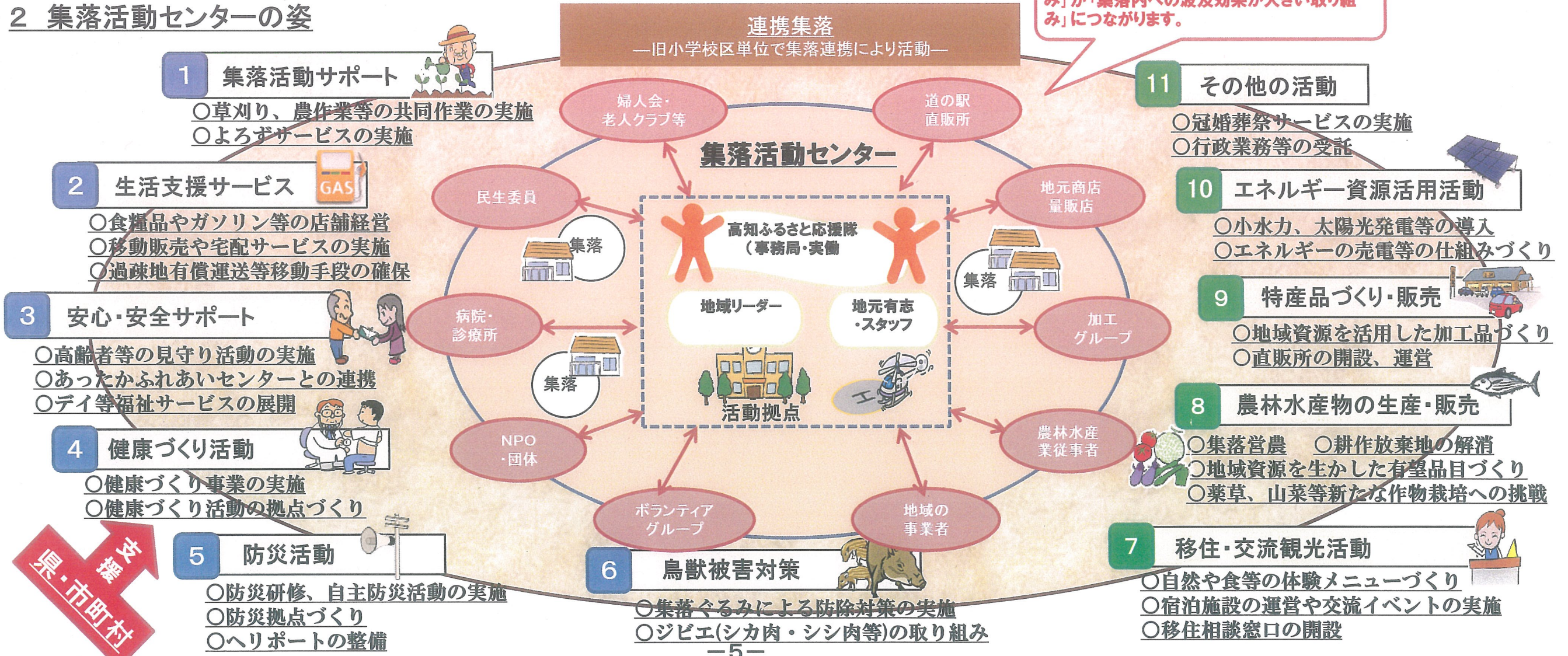
地域の“思い”を“形”にする
⇒集落活動センターを核とした仕組みづくりへ

地域住民の皆さまが主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、
地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、生
活、福祉、産業、防災などの活動について、それぞれの地域の課題
やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組み

話し合いでまとめた計画をもとに、必要に応
じて県の補助金等を活用し、住民主体の活動が
スタートします。

「連携集落内の組織や個人と連携した取り組
み」が「集落内への波及効果が大きい取り組
み」につながります。

2 集落活動センターの姿



集落活動センターに対する総合支援のイメージ



高知ふるさと応援隊に対する総合支援(パッケージ)のイメージ

別紙7

導入段階の支援

市町村の導入促進に向けた支援

- 高知ふるさと応援隊の導入にかかる財政支援
 - ・助成制度(集落活動センター推進事業費補助金)による支援
 - ・地方特別交付税など、国等の有利な制度や支援措置等の紹介
- 高知ふるさと応援隊の活動に関する情報提供
 - ・県内の高知ふるさと応援隊の取り組み事例の紹介
 - ・集落活動センター支援ハンドブックの作成、配布
- 高知ふるさと応援隊の募集にかかる支援
 - ・東京、大阪での県・市町村合同説明会の開催
 - ・全国規模の支援団体等を通じた募集、PR等にかかる支援



希望者等への情報の発信

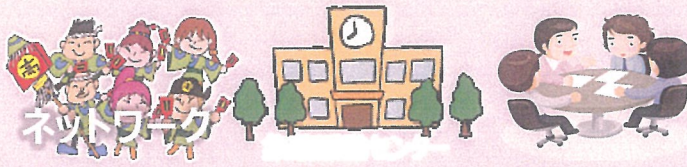
- 高知ふるさと応援隊の取り組みや支援策の紹介
 - ・県内の高知ふるさと応援隊の取り組み事例の紹介
 - ・高知ふるさと応援隊に対する総合支援(パッケージ)の紹介
 - ・各種メディアを通じた情報発信
 - ・移住ポータルサイト等のWebを活用した情報発信
 - ・「幸せ移住パッケージ」により、「仕事」と「住む場所」と「趣味」の情報をセットで提供
 - ・移住相談会、フェア等での情報発信
 - ・移住促進と一体となったプロモーション活動の展開
- 中山間対策の取り組み(集落活動センター等)全国発信
 - ・国等との連携による集落活動センターやあったかふれあいセンターの取り組みの全国的な発信
- 中山間地域等の魅力(自然、食)の発信
 - ・専門誌や雑誌を通じた地域の魅力の発信
 - ・各種マスメディアの活用した地域の魅力の発信
 - ・県、市町村や移住支援団体のホームページなどSNSの有効活用



活動段階の支援

地域づくり活動への支援

- 高知ふるさと応援隊の研修会、勉強会等の開催
 - ・高知ふるさと応援隊を対象とした研修会や意見交換会等の実施
 - ・集落活動センターの合同研修会等の実施
 - ・福祉、産業、生活など分野ごとの研修会、セミナー等の幹旋支援
- 他の高知ふるさと応援隊との交流の場の設定
 - ・県内の高知ふるさと応援の交流会等の開催
 - ・地域おこし協力隊研修など、全国規模の研修会等への参加幹旋
 - ・メール等を通じた情報交換等、ネットワークづくりに向けた支援



定住準備にかかる支援

- 移住・交流コンシェルジュなどによる定住にフォローアップ
 - ・移住・交流コンシェルジュを通じた定期的な交流、意見交換の場の設定
 - ・「幸せ移住パッケージ」により、「仕事」と「住む場所」と「趣味」の情報をセットで提供
- 就業に向けたセミナー、研修会等の参加促進
 - ・各種資格取得に関する情報提供等の支援
 - ・就業や起業に向けた就職情報や支援制度の充実
 - ・土佐まるごとアカデミー等の地域産業人材の育成研修の充実
 - ・スキルアップに向けた各種セミナー、研修会等の実施



活動終了後の支援

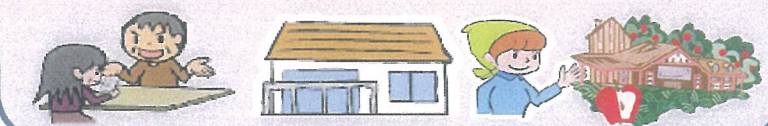
就業・定住に向けた支援

- 農林水産業への就業支援
 - ・就業相談の開催(新しいなかビジネススクールなどの就農相談など)
 - ・就業前の技術習得指導(窪川アグリ体験塾など)
 - ・就業開始時の支援(漁船リース事業、レンタルハウスの整備など)
 - ・就業支度、準備支援(漁業の青年就農給付金など)
 - ・就労後の技術講習の開催(緑の雇用現場技能者育成対策事業など)
 - ・その他、就業支援アドバイザーの配置など
- 起業、開業等に向けた支援
 - ・産業振興関連等の助成制度の紹介
 - ・土佐ビジネスまるごとビジネスアカデミーの開催
 - ・シェアオフィスの整備等による支援
- 「多角経営」、「半農半X(はんのうはんエックス)」への支援
 - ・取り組みの成功事例の紹介
- 地元企業等への就職幹旋等の支援
 - ・雇用、求人情報等の収集、提供
- 地域づくり活動の継続に向けた支援
 - ・集落支援員等による雇用に向けた支援



生活面での支援

- 定住に向けた相談体制の充実
 - ・市町村における「専門相談員」の配置によるフォローアップ
 - ・市町村の移住・定住の受け皿づくり支援
- 生活基盤づくりへの支援
 - ・暮らしに関する身近なサポートを行う「地域移住サポーター」の委嘱と普及
 - ・空き家バンクの登録情報の充実
 - ・移住者支援住宅の整備促進
 - ・「移住者交流会」など、移住者間ネットワークの強化



高知に来てもらう

定住につなげる

3ヶ月～6ヶ月

3年～4年

